

赤色立体地図を活用した 作業道台帳の線形修正について

(1) 利用システム・データ等

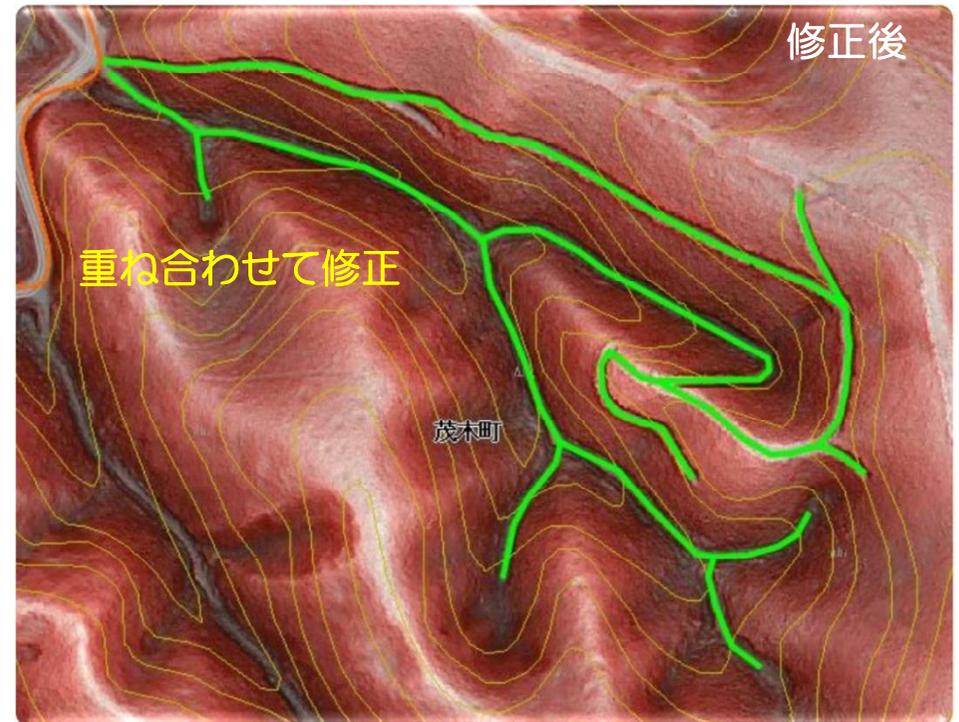
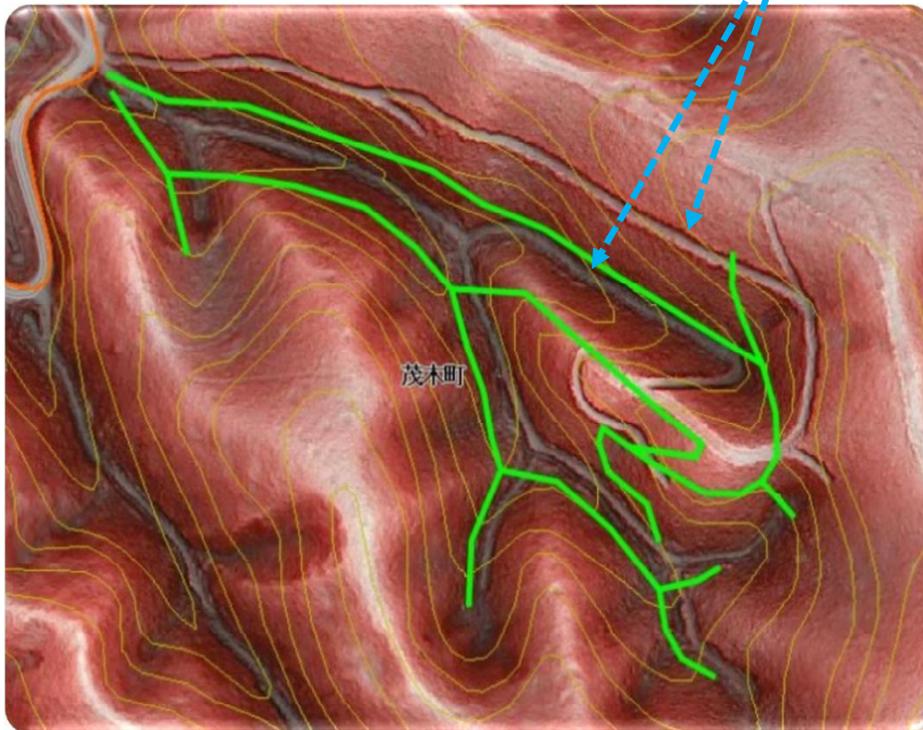
- ・森林クラウドシステム：赤色立体地図

(2) 概要

- ・森林クラウドの赤色立体地図に表示された道形の上に、入力されている森林作業道を重ね合わせて位置を修正。

道形と作業道のズレ

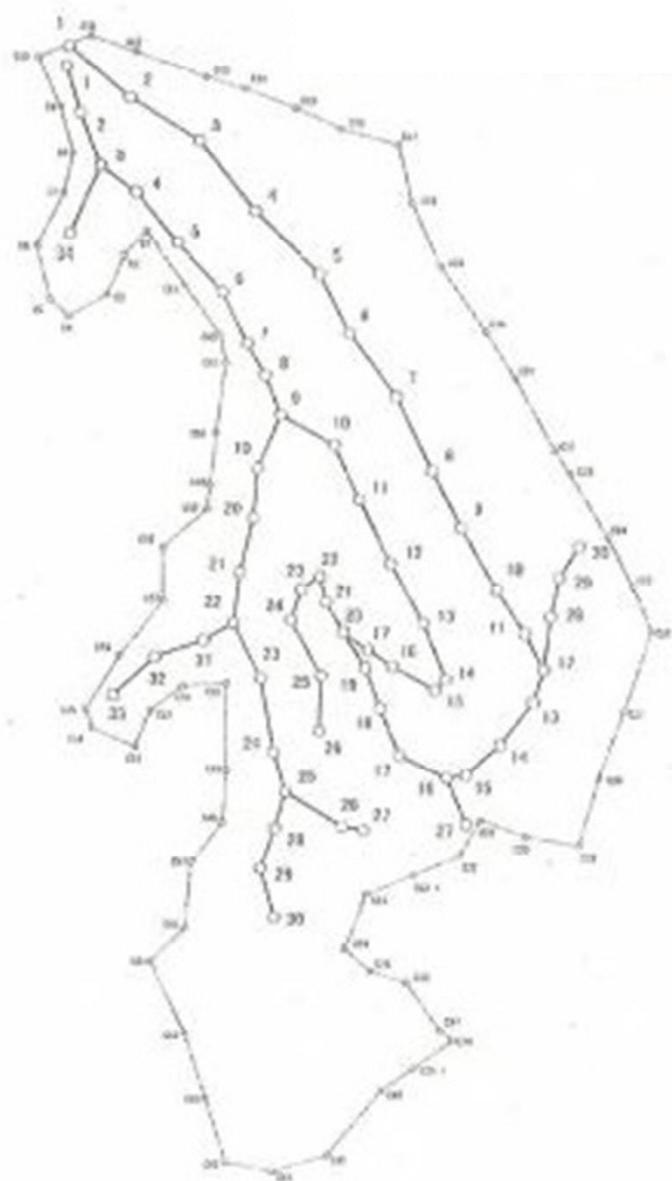
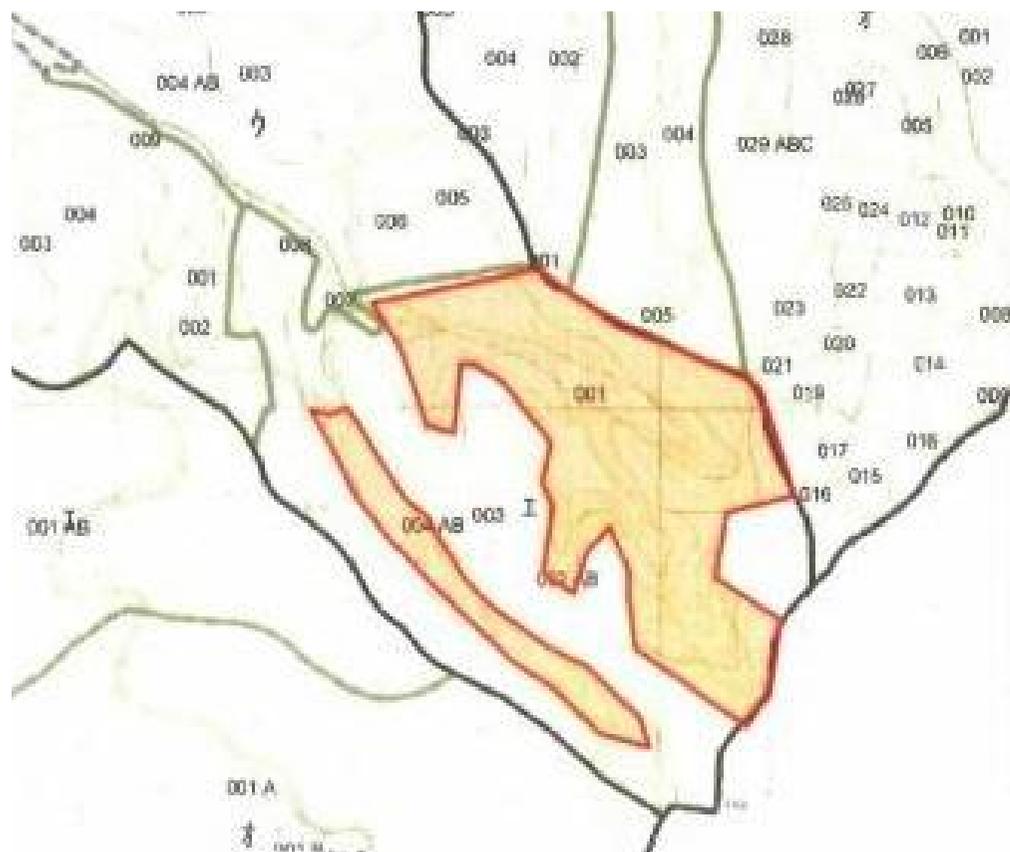
※作業道： 



(3) 赤色立体図の活用前

○入力作業の現状と課題

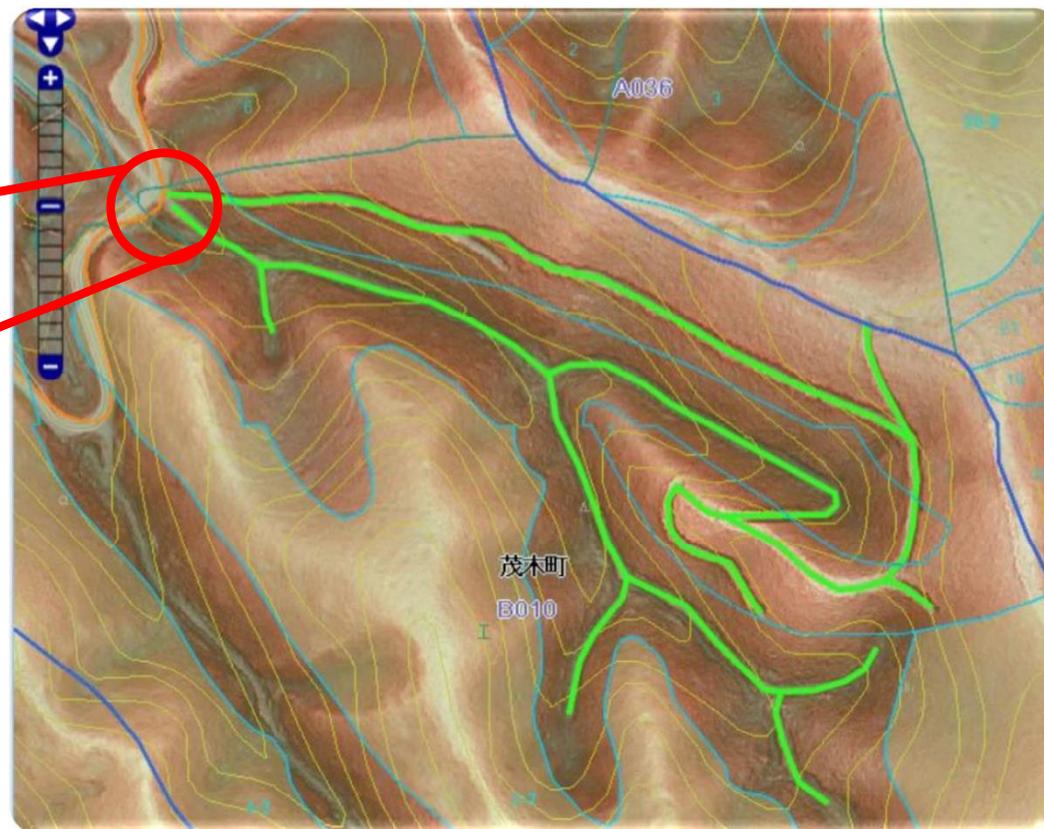
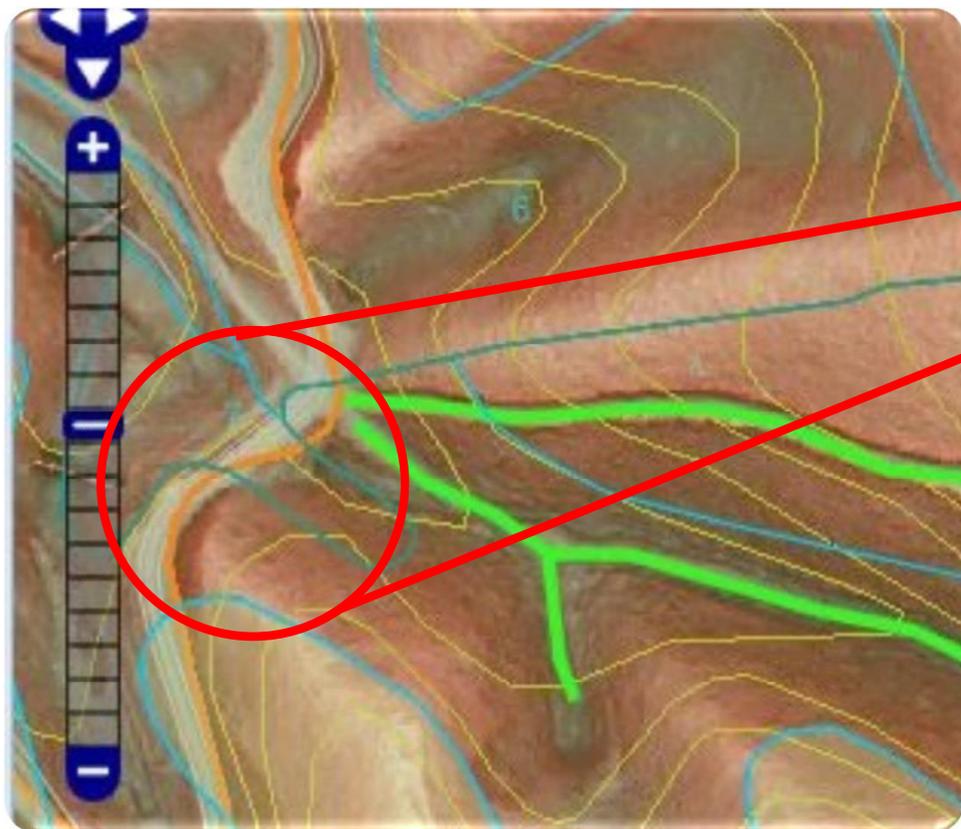
- ・森林作業道 現況図面（紙）を見ながらの手入力のため、位置がずれてしまう。



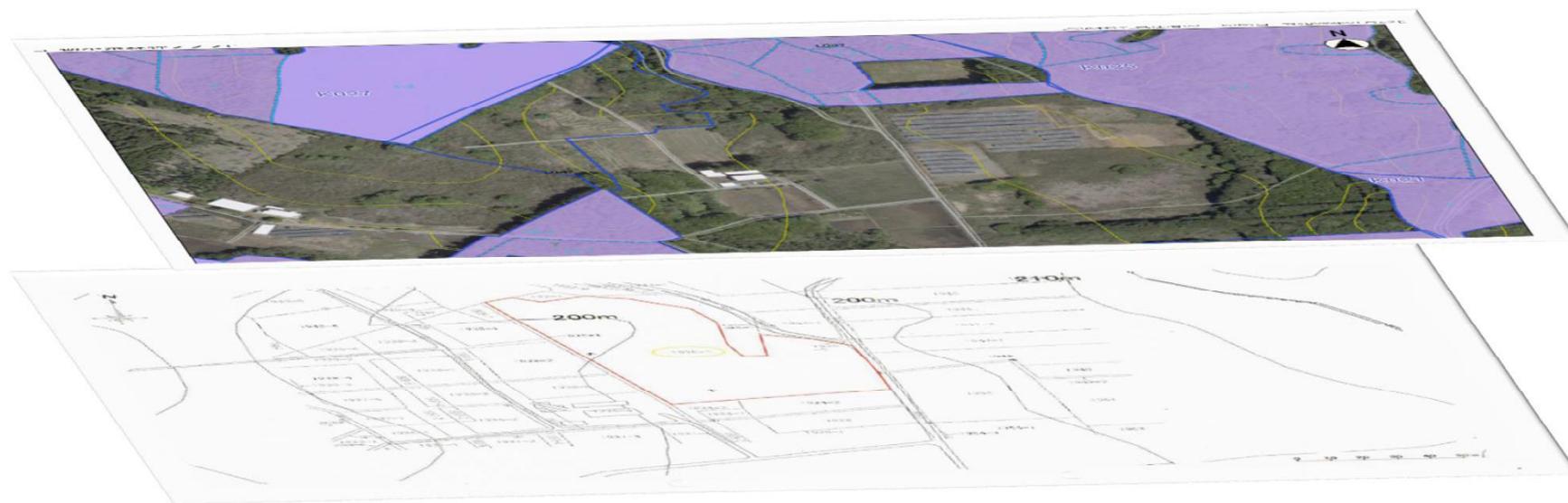
(4) 赤色立体図を活用することで…

- ・ 手入力の作業道を正しい位置に修正
→ 精度の高い作業道情報を蓄積

- ・ 既存の作業道や林道への接続地点がわかる
- ・ 作業道が通る正しい林小班がわかる
→ 現地調査計画の精度向上



オルソ画像活用による 5条森林該当性の判断

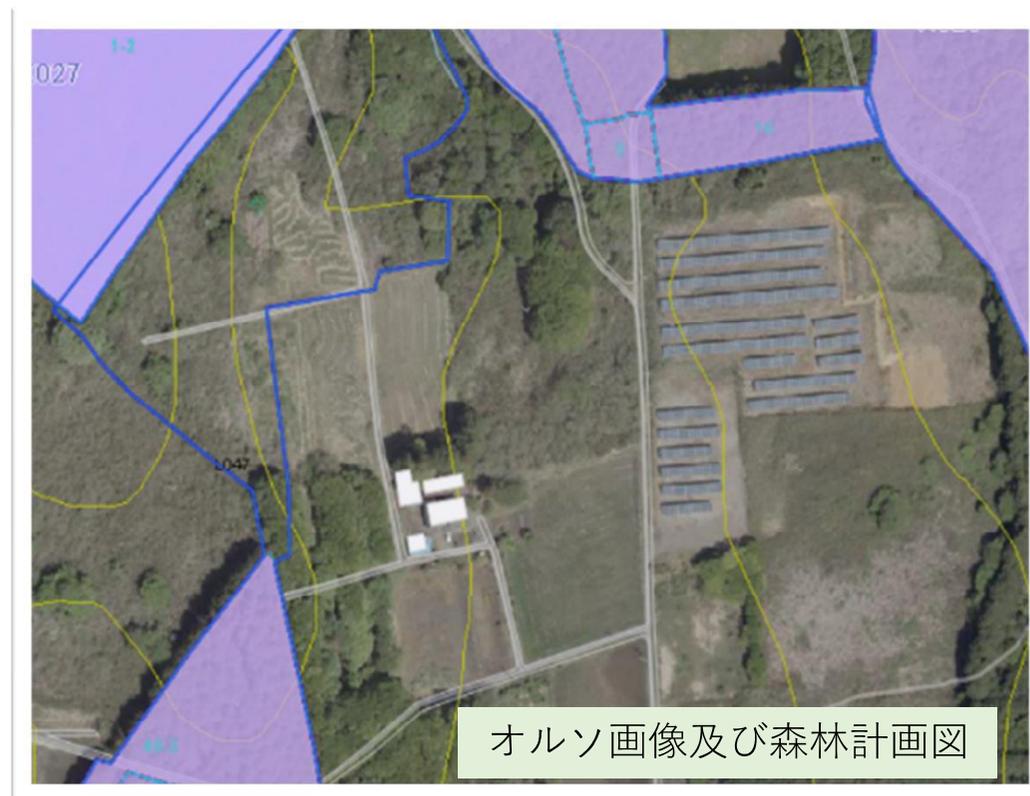


(1) 利用システム・データ等

- ・森林クラウドシステム：オルソ画像
森林計画図

(2) 概要

【5条森林の該当性にかかる問い合わせ】において、参考資料として提供された「**白地図**」と、森林クラウド上の「**オルソ画像**」を重ね合わせて、より精度の高い境界位置を判別する。



(3) オルソ画像の活用前

- ・白地図どうし一致する場所を探す作業は、**視覚的に分かりづらく、時間を要する。**
- ・判別が付かずに現地調査が必要となった際、**白地図では近影が分からないため、当該地へたどり着くのにも一苦労…**



(4) オルソ画像の活用後

- ・オルソ画像と重ね**近影の道や地表物の位置を参考とする**ことで、より**精度の高い位置確認**に役立てることができる。→現地確認も容易となる。

